

在学生による大学紹介！

～授業の内容をチラ見せしちゃいます～

日本画専攻

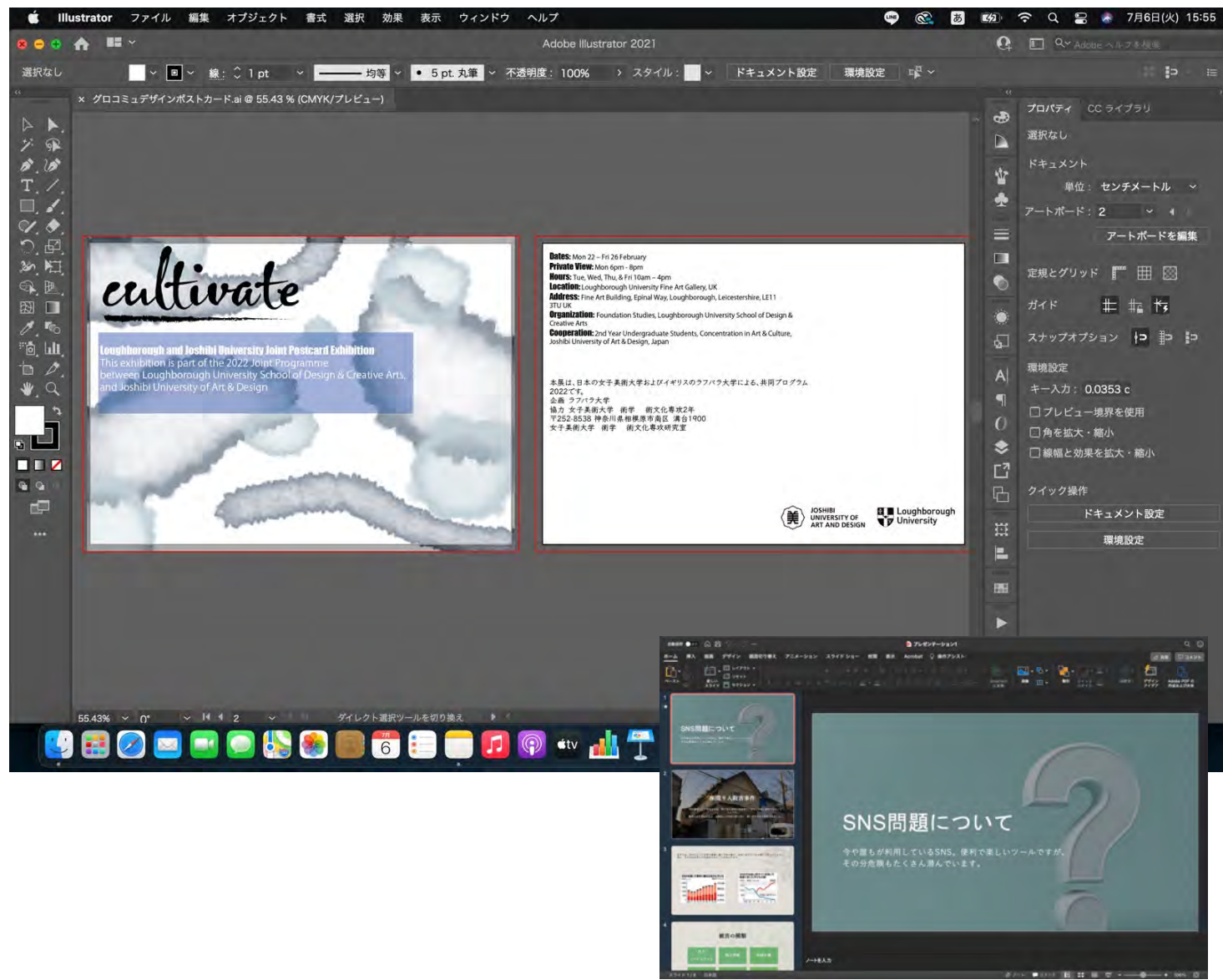
私は今年女子美に入った一年生です！一年生の最初には百合制作をします。百合制作を通して日本画特有の道具の使い方や、基本的な制作の流れに慣れることが目的です！日本画の道具に触れるのは初めてだったので、ワクワクしました！百合制作の他には、生物制作をします。実際に動物を教室内にに入れて、自分の描きたい動物を選び四日間かけてデッサンするんですよ！



女子美には顔料創造ファクトリーという工房があり、日本画専攻は自分のオリジナル絵の具を作ることができます。絵の具作りを体験できるなんて楽しそうですね！

芸術文化専攻

私が所属している芸術文化専攻は現在、ほとんどの授業をオンラインで行っています。来年行う、イギリスのラフバラ大学との共同展覧会に向けたポストカードを製作したり、近年の社会問題についてパワーポイントを用いて意見を出し合ったりしています。作品制作を行うことはほとんどありませんが、海外実習が充実しており、一年生は韓国、二年生はイギリスへ行くことができます。また海外文化だけでなく、日本舞踊家の猿若清三郎先生、猿若海鈴先生をお招きして実際に小道具に触れてみたり、カツラや衣装の仕組みなどの日本文化ついて学ぶこともできます。今回の女子美祭では、芸術文化専攻有志による日本舞踊の動画が YouTube で公開されています。是非見てみて下さい！



工芸専攻

女子美の工芸専攻では、染、織、刺繍、陶芸、ガラスの五つの素材をまず学びます。どれを極めるのかとても悩みましたが私は刺繍を選択しています。女子美は刺繍を日本で学ぶことができる唯一の大学です。刺繍針で刺繍することはもちろん、デジタル刺繍というのもあります。これは帯に刺繍をするために試し縫いを行なっている様子です。糸や刺繍している布も自分の好きな色に染色します。三年生の大きな課題としては天然染料を使って反物を染色し刺繍する訪問着を制作するんですよ！女子美は機械や施設、設備がしっかりとしているので、存分に制作に打ち込めますよ。



ヴィジュアルデザイン専攻

一年生

テーマ「自分や誰かの個展を開くと想定し、そのチラシを作成してください。」
図書館で働く母のために、学校図書館での企画として、児童にしおりのアイディアを募集しようと考えました。最初のデザインでは児童に向けての展示会なので、親しみやすい表記として、ドットや吹き出しを使用していました。先生からは、しおりのアイディアかデザイン、どちらを募集するのかという目的をハッキリさせることと、実際に母に話を聞いたりアドバイスをもらったりすることが大切とアドバイスいただきました。



初期案→

最終的には、初期のものからデザインを一新しました。この最終系に到達するまでフォントやロゴ、配置などを試行錯誤しました。リボンのようなフォントを作成し、新しく描いたイラストにしおりを持たせることによって、しおりコンテストと関連付けたフォントとしおりを作成することができました。あえて、しおりのテンプレートなどを送付しないことで自由なアイディアを描くことができるシートを作成しました。A4 サイズでコンパクトに情報をまとめることができました。また、例や投票の流れをイラスト化し読者への見やすさの配慮をしたデザインへ変わりました。先生には文字の説明をイラスト化したことが特に良かったとコメントをいただきました。

三年生

ヴィジュアルデザイン専攻では、三年生からアートディレクションとグラフィックの二つのコースに分かれて作品を作っています。学生それぞれが課題に沿って自由に商品のブランドを作ったり、コマーシャル映像を作ったりしています！今年から作る作品の量が一気に増えた感じがします。グラフィックを履修している友人はロゴを作ったり、ポスターのグラフィックを作ったりしていると言っていました。ロゴ一つ作るのにほんとに沢山の工程があることを知って感動しました。



私の地元の湖に住んでいる虫たちをキャラクター化した物です！初めて大判印刷をして、大変でしたがとても楽しかったです。改善点としては、もっと展開ができればよかったなと思っています。

デザイン工芸選択実技

デザイン・工芸学科の一年生は、自分の所属している専攻以外の分野を選択して実技を行うことができます！私はヴィジュアルデザイン専攻に所属していますが、工芸専攻の染の授業を体験中なんです。ヴィジュアルデザイン専攻に所属しながら他の専攻のことも体験できるのはとても新鮮で楽しいです。自分の専攻だけではなく、他の専攻の授業を体験することで新しい発見があるかもしれないですね！



緑と黄色と青の可愛い印象に合ったデザインにしたいと制作しました！布のサイズが 80×80cm と、とにかく大きかったので、縫って絞めるのが大変でしたが、がんばりました。初めての染で大変だったので、絞り染めの着物や振袖を見ると、その価値観が変わりました！